

## 6 特別支援学校

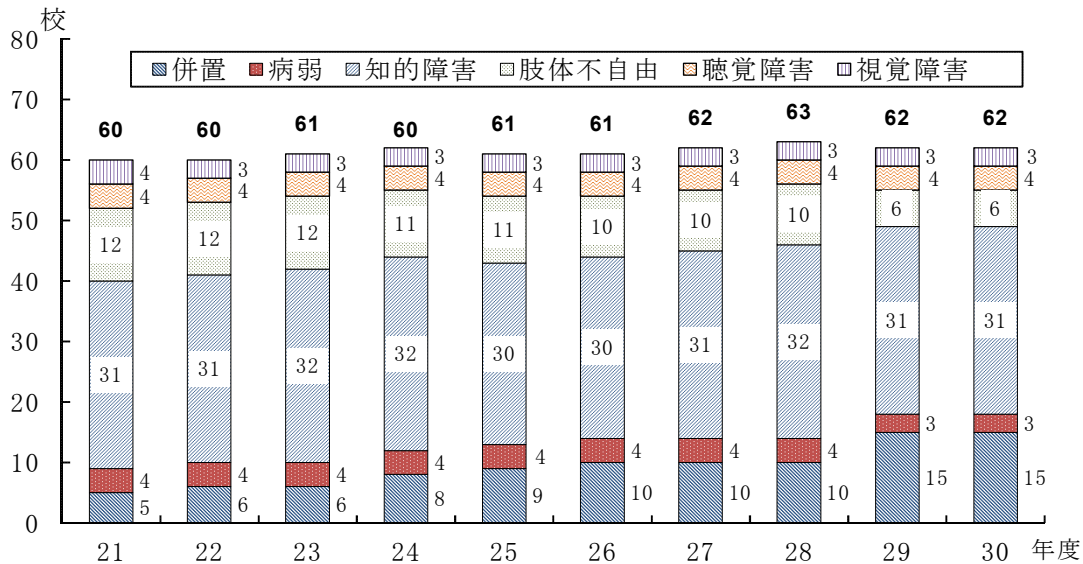
### (1) 学校数

学校数は、62校(都立57校、区立5校)で、前年度と同数である。

学校数のうち障害種別を複数設置している併置校は15校(肢体不自由・知的障害併置校9校、肢体不自由・病弱併置校4校、視覚障害・知的障害併置校1校、知的障害・病弱併置校1校)となっている。

併置校以外の学校数を障害種別で見ると、視覚障害3校、聴覚障害4校、肢体不自由6校、知的障害31校、病弱3校となっている。(P.74 第31表)

図27 学校数の推移



注1) 学校数には、分校を含む。

2) 区立5校の障害種別は、肢体不自由1校、知的障害1校、病弱3校となっている。

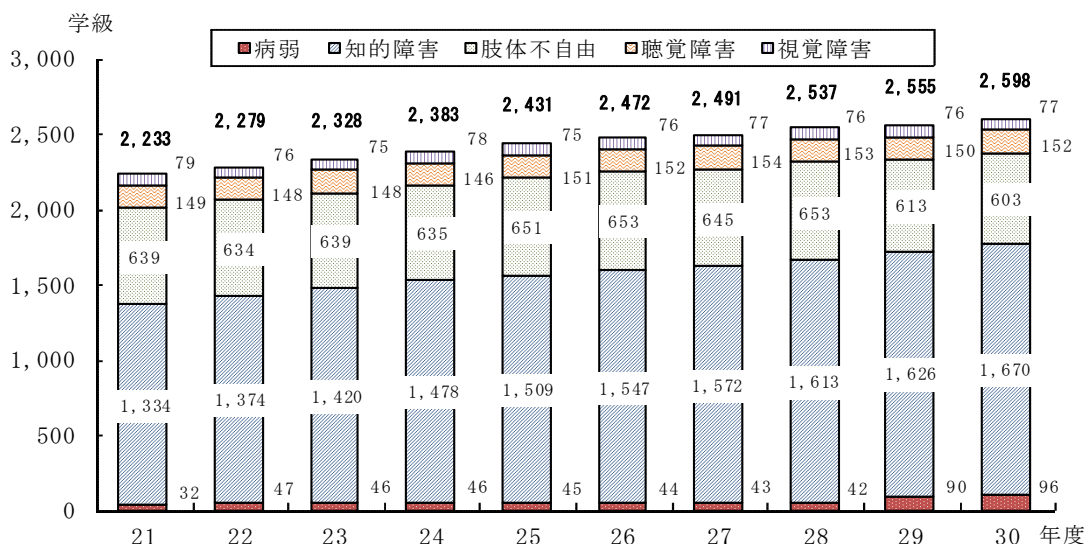
3) 併置校は全て都立である。

### (2) 学級数

学級数は、2,598学級で、前年度より43学級増加している。

障害種別で見ると、視覚障害77学級、聴覚障害152学級、肢体不自由603学級(都立587学級、区立16学級)、知的障害1,670学級(都立1,643学級、区立27学級)、病弱96学級(都立85学級、区立11学級)となっている。(P.74 第31表)

図28 学級数の推移



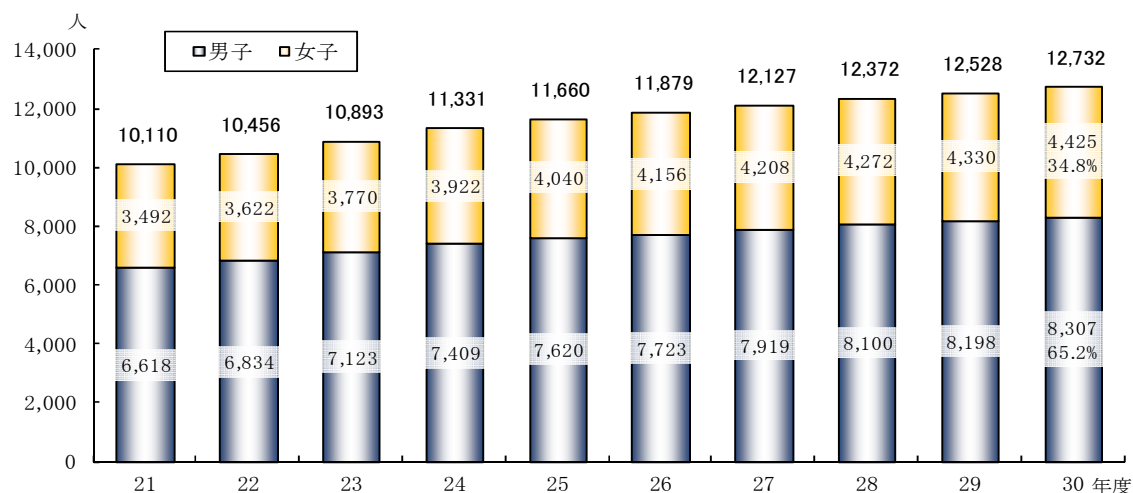
### (3) 在学者数

在学者数は12,732人で、前年度より204人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害247人、聴覚障害687人、肢体不自由2,060人(都立2,009人、区立51人)、知的障害9,523人(都立9,411人、区立112人)、病弱215人(都立163人、区立52人)となっている。

男女別で見ると、男子8,307人(構成比65.2%)、女子4,425人(構成比34.8%)で、前年度と比べて、女子の構成比が0.2ポイント増加している。(P.74第31表)

図29 在学者数及び男女別割合の推移



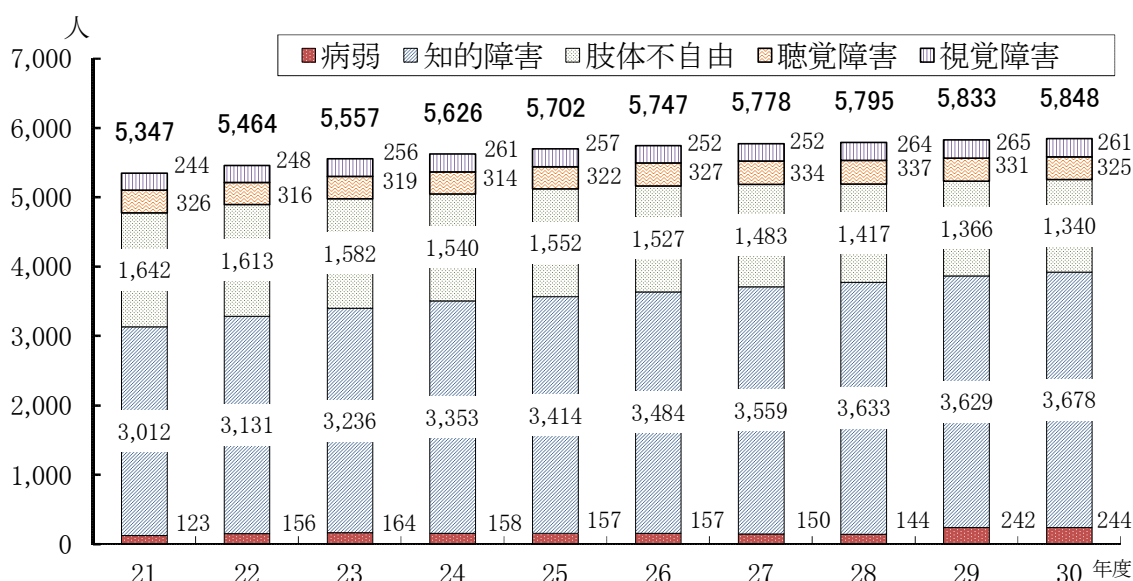
### (4) 教員数

教員数は、5,848人で、前年度より15人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害261人、聴覚障害325人、肢体不自由1,340人(都立1,303人、区立37人)、知的障害3,678人(都立3,621人、区立57人)、病弱244人(都立193人、区立51人)となっている。

男女別で見ると、男性2,328人(構成比39.8%)、女性3,520人(構成比60.2%)で、前年度と比べて、女性の構成比が0.1ポイント増加している。(P.76第32表)

図30 教員数の推移



## (5) 職員数

職員数は、564人で、前年度より7人減少している。

障害種別で見ると、視覚障害33人、聴覚障害32人、肢体不自由158人(都立151人、区立7人)、知的障害307人(都立299人、区立8人)、病弱34人(都立10人、区立24人)となっている。

男女別で見ると、男性257人(構成比45.6%)、女性307人(構成比54.4%)となっている。

(P.76 第33表)

図31 職員数の推移

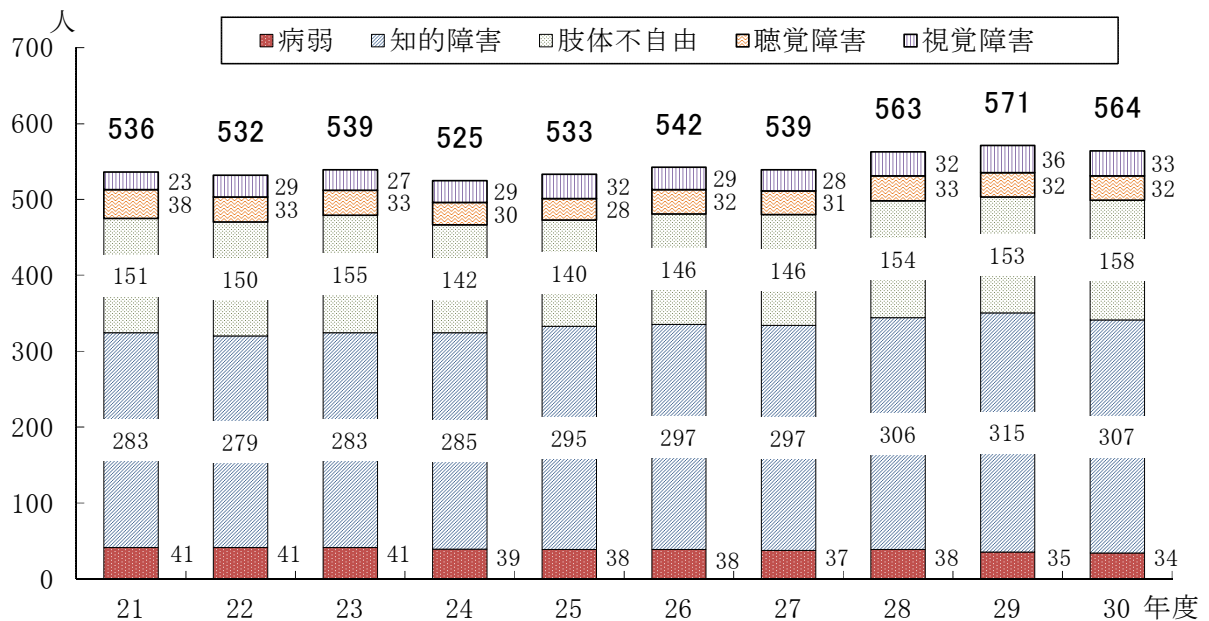


図32 職員の職名別割合

